

## 第4章 育児休業制度の利用状況



## 第4章 育児休業制度の利用状況

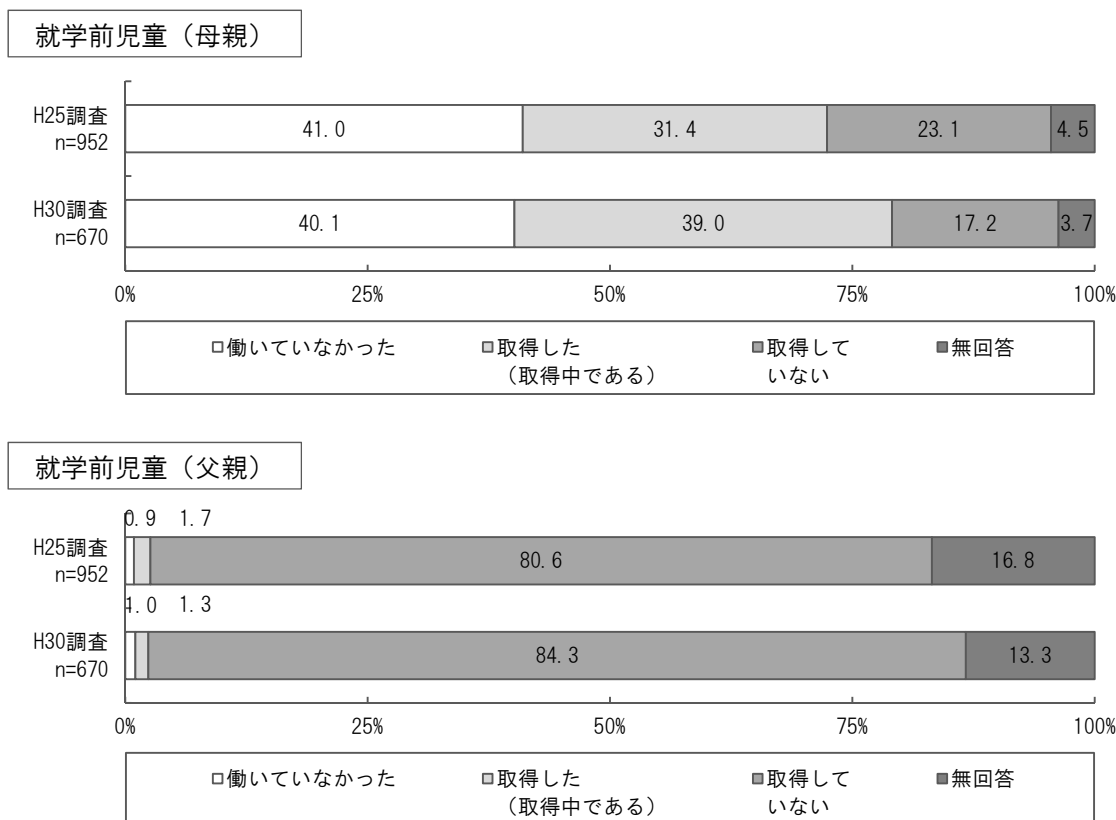
### 1 育児と仕事の両立支援制度について

#### (1) 育児休業制度の利用状況

就学前児童について育児休業制度の利用状況をみると、「取得した（取得中である）」母親は39.0%、一方父親は1.3%という状況です。

前回調査と比較すると、「取得した（取得中である）」母親は前回調査（31.4%）より7.6ポイント高くなっています。

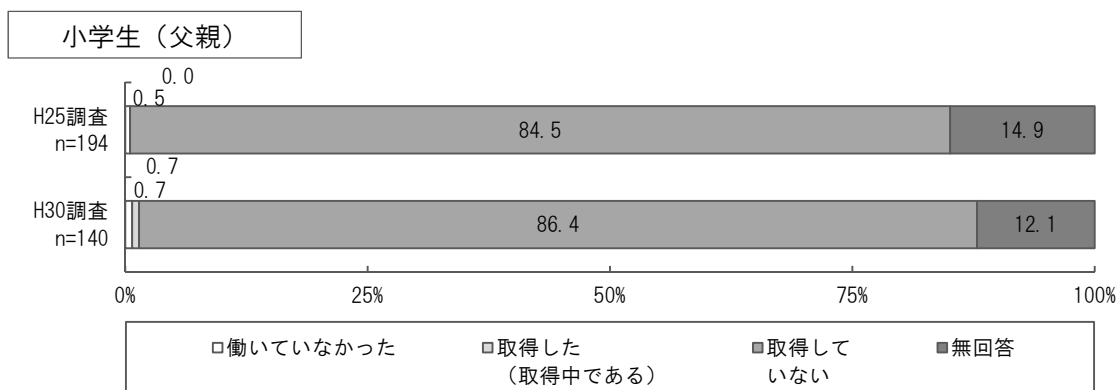
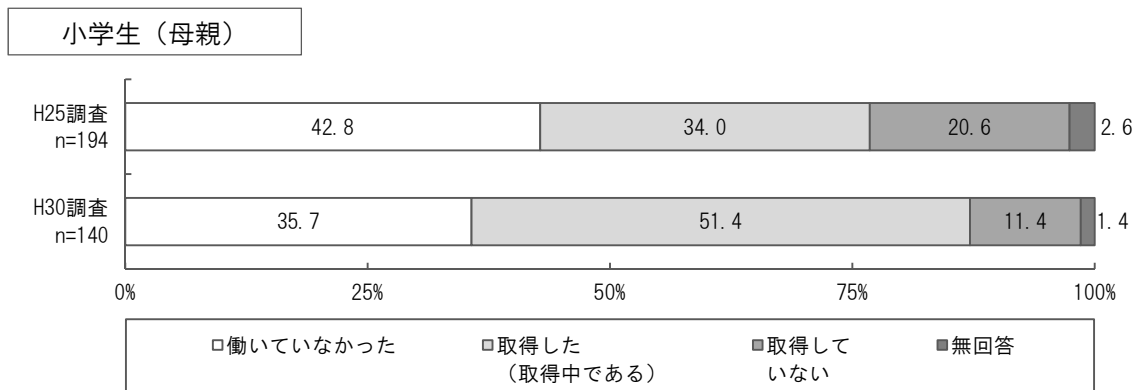
問29 育児休業制度の利用状況（経年比較）



小学生について育児休業制度の利用状況をみると、「取得した（取得中である）」母親は51.4%、一方父親は0.7%という状況です。

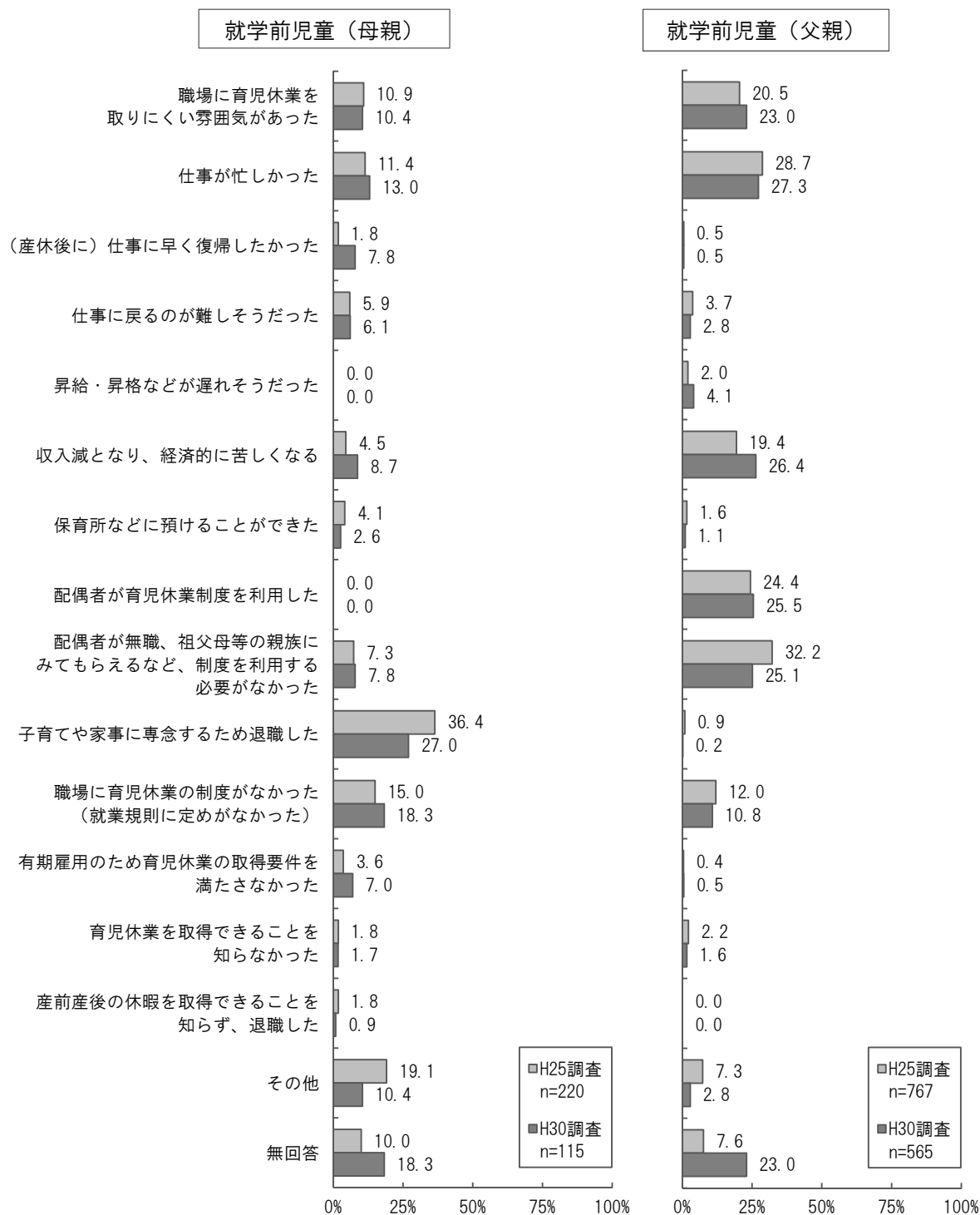
前回調査と比較すると、「取得した（取得中である）」母親は前回調査（34.0%）より17.4<sup>ポイント</sup>高くなっています。

[問16] 育児休業制度の利用状況（経年比較）



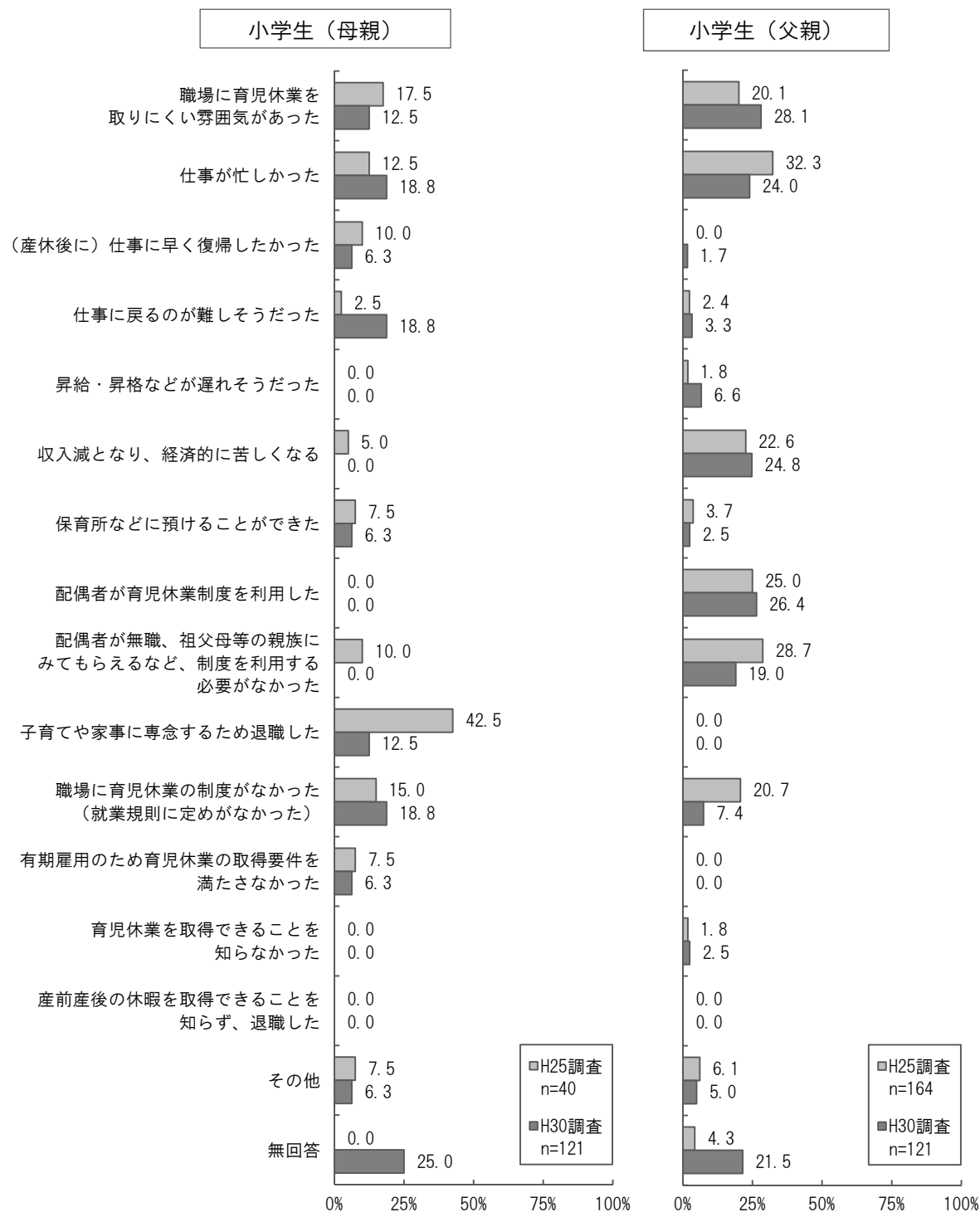
育児休業を取得していない理由について、就学前児童の母親は「子育てや家事に専念するため退職した」(27.0%)、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(18.3%)、「仕事が忙しかった」(13.0%)をあげた割合が高く、一方父親は「仕事が忙しかった」(27.3%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(26.4%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(25.5%)など、母親の理由との違いがみられます。

問29.3 育児休業を取得していない理由(経年比較)



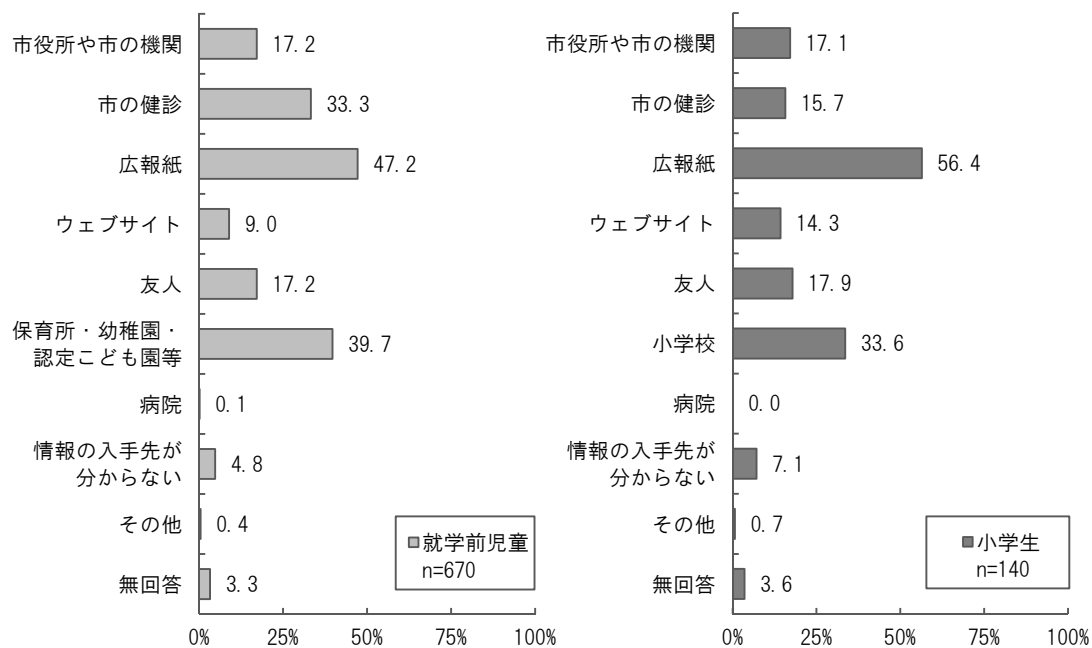
育児休業を取得していない理由について、小学生の母親は「仕事が忙しかった」「仕事に戻るのが難しそうだった」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（各18.8%）をあげた割合が高く、一方父親は「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（28.1%）、「配偶者が育児休業制度を利用した」（26.4%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（24.8%）など就学前児童の父親と同様に、母親の理由との違いがみられます。

[問16.3] 育児休業を取得していない理由（経年比較）



市の子育てに関する情報の入手方法をみると、就学前児童・小学生ともに「広報紙」(47.2%・56.4%)が最も高くなっています。次いで、就学前児童では「保育所・幼稚園・認定こども園等」(39.7%)、「市の健診」(33.3%)などとなっています。一方、小学生では、「小学校」(33.6%)、「友人」(17.9%)などとなっています。

問30[問17] 市の子育てに関する情報の入手方法

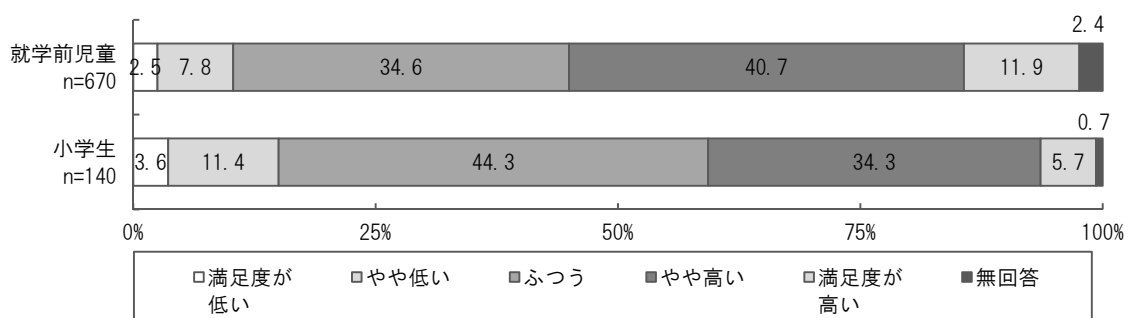


## 2 子育ての環境や支援への満足度

地域における子育ての環境や支援への満足度をみると、就学前児童では「満足度が高い」+「やや高い」が52.6%、「やや低い」+「満足度が低い」が10.3%で、前者が42.3ポイント上回っています。

小学生では「満足度が高い」+「やや高い」が40.0%、「やや低い」+「満足度が低い」が15.0%で、前者が25.0ポイント上回っています。

問31[問18] 地域における子育ての環境や支援への満足度





地区別の満足度をみると、就学前児童では「満足度が高い」と「やや高い」の計が高い地区は『阿那賀地区』（75.0%）となっています。

問31[問18] 地区別の満足度（「やや高い」+「満足度が高い」）

